

2023 年度(令和 5 年度) 三重県立高校後期選抜 合格ライン予想

2023 年度合格ラインは、三重県統一テスト(eisū 主催)の採点基準、および蓄積されたデータベースをもとに、eisū が独自で分析した、主要高校の合格可能性 80%ラインを意味しています。(2023 年 3 月 9 日作成)

桑名	理数科	215 点	川越	国際文理科	192 点
	普通科	191 点		普通科	174 点
四日市	国際科学コース	231 点	四日市南	数理科学コース	209 点
	普通科	215 点		普通科	187 点
四日市西	くくり	161 点	神戸	理数科	188 点
	普通科	135 点		普通科	155 点
津	普通科	202 点	津西	国際科学科	210 点
				普通科	182 点
津東	普通科	140 点	上野	理数科	201 点
				普通科	150 点
松阪	理数科	201 点	伊勢	国際科学コース	210 点
	普通科	175 点		普通科	182 点
宇治山田	普通科	159 点			

※掲載学校は北勢学区から順に並んでいます。

※当塾の受験者が少ない学校については、ライン予想を控えさせていただいております。あしからずご了承ください。

※四日市南高校の数理科学コースは数学を 2 倍とする傾斜配点を実施していますが、50 点として予想しています。

※四日市西高校の比較文化・歴史コースと数理情報コースはくくり受験となります。

※検査点で上記点数に達していても内申点が加味されるため、合格とならない場合もございます。

参考：三重県立高校後期選抜の選抜方法

第 1 段階…調査書により選考された募集定員の 100%以内に含まれる者かつ学力検査の順位が 80%以内に含まれる者を合格とする。

※桑名（普通）、四日市南（普通）、神戸（普通）、津西（普通）、松阪（普通）は募集定員の 110%

※桑名（理数）、四日市（国際科学）、四日市南（数理科学）、四日市西（比較文化・歴史/数理情報）

川越（国際文理）・川越（普通）、神戸（理数）、津西（国際科学）、上野（理数）

名張青峰（文理探究）、松阪（理数）、伊勢（国際科学）は募集定員の 120%

第 2 段階…第 1 段階で調査書により選考された者の中から、学力検査で募集定員の残りの 2 分の 1 の合格者を決める。

第 3 段階…各高等学校が示す「特に重視する選抜資料等」をふまえ、残りの合格者を決定する。

注意：このデータを紙などに印刷したり、それを配布したりする行為はご遠慮ください。